

我が社の得意技④

アイデアは技術の掛け算から

(株)カラーズヴィル (今在家)

(株)カラーズヴィルは、衣料品や繊維雑貨の企画・製造販売企業である。color個性、villageⅡ村を合わせた社名は、「個性が集まる村」を意味し、「互いの個性を尊重しあいながら一つの理念のもとに集うグループでありたい」との思いが込められている。

同社は、竹田昌弘社長の祖父が創業したタオル染色メーカーの企画開発・販売部門として平成14年に設立された。

その背景には、輸入品の急増を受け苦境に立たされているタオル産業を、新たな発想や技術により、従来にない商品を作り出すことで活性化させたいという強い思いがある。

■「技術×技術」の掛け算

同社は、日頃から染色のさまざまな特殊技術に触れる機会が多く、新たな繊維素材についても開発段階から関わる事ができる。こうした染色技術や柄織の技術、素材に関

するノウハウを掛け合わせ、オリジナル繊維商品を企画・開発できることが強みとなっている。

こうした強みを活かし、主力商品である「ライトガーゼマフラー」は開発された。極細糸を使った多層ガーゼは軽量でフワフワと肌にやさしく、首元は快適に保たれる。また、紫外線防止や汗対策の機能も備えており、手軽に洗濯も可能である。この機能性を有したガーゼマフラーに、染色と柄織の技術を掛け合わせることで、優れたファッション性を実現させている。竹田社長は「ゼロからのものづくりは難しいが、掛け算をすれば可能性は広がる」と話す。



▲ライトガーゼマフラー

■現場を重視した商品企画

ギフト商品としても人気が高い同社のパッケージは、まるでオシャレな洋書をイメージさせる。

商品説明が行き届かない店内において、見ただけで商品の良さや価値が伝わるデザインをめざしている。



▲洋書をイメージさせるパッケージ

コンセプトやデザインにこだわりを持つ竹田社長だが、同社を設立するまではデザイン等の企画に携わったことはなかった。当初、求められる商品とはどのようなものか分からず、営業先の店舗で陳列されている商品やお客さまの反応を観察し、現場の中で学んできた。

ヒット商品の「ご当地マフラーシリーズ」も、観光地を営業に回る中で生み出された商品だ。地域色を前面に押し

出したデザインは、外国人観光客にも人気が高く、おみやげ用商品としてホテルや雑貨屋等で好評を博している。広島から始まった同シリーズは、現在、宮島、神戸、大阪まで地域を広げ展開している。「いつかは海外展開にも挑戦し、日本が誇るタオルのクオリティーの高さを世界中の人に伝えたい」そう竹田社長は目を輝かせる。



▲竹田昌弘社長

現在、同社は、サイクスの支援で、中小企業庁の「小規模事業者活性化事業」の採択を受け、新たな商品開発に取り組んでいます。サイクスは、今後も同社のマーケティングや販路開拓等の支援をしていくこととしています。

サイクスでは市内企業の皆さまが取り組む活動に対する支援を積極的に行っています。ぜひ、ご利用ください。

サイクスからの事業案内

のぞいてみませんか！
異業種交流会うちぬきサロン

うちぬきサロンを毎月第二月曜日に開催しています。

地域産業振興のエネルギーを生み出す場所として、毎回約百人の産業人が参加。業種や分野は不問。皆さんのお越しをお待ちしています。

■12月の開催予定

○日時 12月9日(月)

18時～20時30分

○場所 サイクス1階

交流サロン

○参加費 2千円

※G I S I C S 会員企業等は

1千円

■申込み・問合せ

産業情報支援センター

TEL 0897-53-0010



▲異業種交流会うちぬきサロン